

次期総合計画「長期ビジョン」における8+1の政策分野ごとの取組方向

1 健康・余暇

目指す方向性(イメージ)

こころと体の健康を守り高めていくための環境がつけられ、また、余暇をいきいきと過ごすための時間が確保され、多様な余暇を過ごすことができる。

主な取組方向(イメージ)

生涯を通じ、健康に過ごすことができる環境の整備

- ・生涯を通じた健康づくりの推進
- ・こころの健康づくりの推進
- ・自殺を防ぐ対策の推進
- ・食を通じた健康づくりの推進
(・健康に着目した機能性成分の研究) 等

必要な医療を受けることができる体制の充実

- ・医療を担う人材の育成
- ・質の高い医療が受けられる体制の整備 等

共に支え合い、みんながいきいきと暮らせる環境づくり

- ・互いに認め合い共に支え合う福祉コミュニティづくりの推進
- ・みんなが安心して暮らせる環境の整備
- ・地域包括ケアシステムの構築及び深化・推進
- ・必要な介護が受けられる体制の整備
- ・障がい者が安心して生活できる環境の整備
- ・障がい者の社会参加の促進
(・農福連携の推進) 等

みんなが楽しむ文化芸術の推進

- ・県民が文化芸術を楽しむ機会の充実
- ・新しい文化芸術の創造
- ・アール・ブリュットの振興 等

みんなが楽しむスポーツの推進

- ・県民がライフステージに応じてスポーツを楽しむ機会の充実
- ・障がい者のスポーツ参加機会の充実 等

生涯にわたり学び続ける環境づくり

- ・学びと活動の循環による地域の活性化
- ・社会教育の中核を担う人材の育成
- ・多様な学習機会の充実 等

部会における主な意見等

【健康・医療】

- ・被災者のこころのケアは、中長期的に必要。
- ・行政による自殺対策は、引き続き必要。
- ・地域を支える医療人材が不足しているため、医療分野でのUIJターンの推進が必要。
- ・企業における健康経営の考え方が必要。
- ・岩手県では労働時間が長く、有給休暇の取得率が低い。

【介護・福祉】

- ・中高年の引きこもりには様々な要因がからむため、福祉と医療の連携等、県レベルの対策が必要。
- ・地域を支える福祉人材が不足しているため、福祉分野でのUIJターンの推進が必要。

【文化芸術】

- ・歴史・文化の継承のため、行政がその大切さを訴えとともに、消滅しないよう支援していくことが必要。

【生涯スポーツ】

- ・心を豊かにし、人と人とのつながりを強めるため、スポーツをうまく活用することが必要。
- ・スポーツで体を動かす楽しさなどを伝えるため、オリンピックなどを積極的に活用することが必要。
- ・高齢者も含め、だれもがスポーツを楽しめるような岩手にするため、スポーツ振興に取り組むことが必要。

2 家族・子育て

目指す方向性(イメージ)

結婚・出産・子育てに希望を持ち、子どもが家庭や社会でいきいきと育つことができ、家族が共につながり支え合うことができる。

主な取組方向(イメージ)

安心して子どもを生み育てられる環境の整備

- ・ 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境の整備
- ・ 安全・安心な出産環境など親と子の健康づくりの充実
- ・ 子育て家庭への支援
- ・ 子どもの健全育成の支援
- ・ 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保
- ・ 障がい児の療養・療育支援体制の整備 等

青少年の豊かな心を醸成する環境の整備

- ・ 個性・主体性を尊重した次世代を担う人づくりの推進
- ・ 健全な青少年を育む地域づくりの推進
- ・ 青少年を事件・事故から守る環境づくりの推進 等

学校と家庭・地域との協働の推進 (家庭教育・社会教育)

- ・ 家庭・地域等との連携による学力の定着
- ・ 家庭教育への学びの支援
- ・ 地域社会で児童生徒を育む環境づくりの推進
- ・ 県民と協働した特別支援教育体制の整備 等

人と動物が共存する環境づくり

- ・ 県民の動物愛護思想の高揚を図る環境づくりの推進
- ・ 動物のいのちを守る取組の推進 等

部会における主な意見等

【結婚・出産・子育て】

- ・ 子育て中の親が仕事等を行う場合、負担が大きいことから、奨励や情報発信に加えて、具体的な悩みに対する対策も必要。
- ・ IT化が進むことで、テレワークが可能となり、子育てしながら働く等、多様な働き方につながる。
- ・ 岩手県では、労働時間が長く、有給休暇の取得率が低いため、改善が必要。
- ・ 子どもたちが外で遊ぶことに制約が生じており、子育てがしやすい環境をつくっていく必要がある。

【家庭教育】

- ・ 子どもと親自身の自立のため、子どもに対する過干渉について解決を図っていく必要がある。

【社会教育】

- ・ 次世代のごみ軽減やエネルギー活用につなげるため、児童生徒への環境教育を丁寧に行う必要がある。
- ・ 消費者支援体制（人材、予算）の縮小が見込まれるため、消費者教育を強化する必要がある。

3 教育

目指す方向性(イメージ)

子どもが、教育を通じて、心豊かに学び、生きる力を高めることができ、また、様々な分野の担い手が地域で活躍している。

主な取組方向(イメージ)

確かな学力の育成

- ・ 学ぶ意欲を高める取組の推進
- ・ 学習指導要領等に基づく社会に開かれた教育課程の編成
- ・ 学校の組織的な授業改善の取組の推進
- ・ 校種間の連携による切れ目のない教育の推進 等

豊かな心と健やかな体の育成

- ・ 学校・家庭・地域が連携した道徳教育、体験活動、読書活動等の推進
- ・ 人権教育の推進
- ・ 優れた文化芸術を通じた情緒豊かな子どもの育成
- ・ いじめ防止に向けた教育の推進
- ・ 心のサポートや相談体制の充実
- ・ 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実
- ・ 適切な部活動指導体制の推進
- ・ 健康教育の充実
(・ 食を通じた健康教育の充実) 等

特別支援教育の推進

- ・ 個々の教育的ニーズに応じた支援・指導の充実
- ・ 進路実現に向けた関係機関と連携した就労支援 等

学びの基盤づくり

- ・ 目標達成型の学校経営の推進
- ・ 魅力ある学校づくりの推進
- ・ 多様なニーズに対応する教育機会の提供
- ・ 高い志を持つ有為な人材の確保・育成と勤務環境の適正化の推進
- ・ 安全な教育環境の確保 等

私立学校の特色ある教育活動の推進

- ・ 私学教育の充実
- ・ 特色ある教育の推進 等

いわてで世界で活躍する人材の育成 (国際人材等)

- ・ 「いわての復興教育」の推進
- ・ ふるさとを愛し社会に貢献する人材の育成
- ・ キャリア教育の推進とライフプランニング教育の充実
- ・ グローカルな視点で世界と岩手をつなぐ人材の育成
- ・ イノベーションを創出する人材の育成
- ・ 地域の大学を核とした地域牽引人材の育成・定着
- ・ 防災知識の普及啓発と防災教育の推進
(・ 環境学習の推進) 等

産業を担う人材の育成

- ・ ものづくり産業など県内産業を担う人材の育成
- ・ 農林水産業を担う人材の育成
- ・ 医療・福祉を担う人材の育成 等

文化芸術を担う人材の育成

- ・ 文化芸術の担い手の育成
- ・ 県民の文化芸術活動を支える人材の育成 等

スポーツ推進を担う人材の育成

- ・ アスリートの競技力の向上
- ・ 障がい者アスリートの競技力の向上
- ・ 県民のスポーツを支える指導者等の養成 等

【教育(主に学校教育)】

- ・ 学力向上のため、小さいうちから体を動かすことや、ゆとりがあり、幸福感にあふれる家庭環境を築くことが必要。
- ・ 特別支援教育の推進のため、他団体との連携や風通しの良さを生かした取組を推進することが重要。
- ・ 各地域の復興教育の推進のため、学校における復興教育のあり方の検討が必要。
- ・ 復興以外の分野についても小中学校間の横軸連携を図るため、姉妹指定校システムを活用することが必要。

【人づくり】

- ・ 子どもたちが地域に愛着を感じ、戻って来たいという気持ちを持っていることを施策に活用することが必要。
- ・ 子どもたちが地域に誇りを持ち、自信を持つことができるようになるため、様々な経験を積ませ、褒めるところは褒め、厳しくするところは厳しく教育することが重要。
- ・ 多くの命が奪われた震災の経験を伝えていくため、復興教育の拠点づくりを進めるとともに、継続的に思いやりの心や命の大切さを育んでいくことが重要。
- ・ 自分を大事に思い、家族や仲間、地域や未来を大事にしようとする気持ちを育むため、自己肯定感を高める取組を行っていくことが重要。
- ・ 子どもたちが考える力を身に付け、自分の言葉で気持ちを伝えることができるようになるため、世代や立場が違う人たちとの交流を図っていくことが必要。
- ・ 頑張っている人にスポットが当たるようにするため、正規の職に就かなければならないといったこれまでの固定的な価値観を変えていくことが必要。
- ・ 健康寿命の延伸や生きがいづくりのため、高齢者や子育てが終わった世代の方たちがともに教育について考え、携わるような意識の変革が必要。
- ・ 子どもたちが自信を持つことができるようにするため、留学等により外国人とのコミュニケーションの経験を積み重ねる取組を進めることが必要。

(産業人材)

- ・ 経営者の世代交代を円滑にするため、事業承継に向けた支援が必要。
- ・ 観光産業においては、おもてなしの心を育む教育が必要。

(スポーツ人材)

- ・ 日本や世界で戦うことができるスポーツ人材を育成するため、スーパーキッズのような突出した能力を伸ばす政策をさらに進め、故郷に対する思いを高揚させることが必要。

4 居住環境・コミュニティ

目指す方向性(イメージ)

地域で快適に住み、暮らすための住環境が整備され、住民主体で支え合える、いきいきとした地域コミュニティがつけられている。

主な取組方向(イメージ)

地域を支える公共交通の確保

- ・ 広域的な公共交通基盤の確保
- ・ 地域住民の足となる交通体系の確保
- ・ 公共交通の利用促進 等

地域コミュニティの活性化

- ・ 市町村や地域住民と一体となった地域コミュニティづくりの推進
- ・ 地域コミュニティ活動を支える人材の育成
- ・ コミュニティの防災組織（自主防災組織等）の活性化
- ・ 防災関係機関や地域住民等と連携した災害対応体制の整備
- ・ 地域の安全を守る自主的な活動への支援
- ・ 多様な主体との協働によるひとにやさしいまちづくりの推進 等

多様な市民活動の促進

- ・ 多様な主体の連携・協働の取組の推進
- ・ 多様な主体の連携・協働の取組を担うNPOへの支援
- ・ 地域の大学等と連携した地域課題の解決を図る取組の推進 等

地域の活力を向上させる 移住・定住の促進

- ・ 岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進
- ・ 安心して移住し活躍できる環境の整備
- ・ 岩手の農山漁村における魅力あるライフスタイルづくりの推進 等

多文化が共生する環境づくり

- ・ 外国人が暮らしやすい環境づくりの推進
- ・ 海外とのネットワークの強化 等

快適な生活を支えるまちと環境づくり

- ・ 快適で魅力あるまちづくりの推進
- ・ 環境に配慮し快適で豊かに暮らせる居住環境づくりの推進
- ・ 衛生的で快適な生活環境の確保
- ・ 生活衛生関係営業の振興
- ・ 大気や水等の良好な環境の確保
- ・ 低炭素社会の構築に向けたまちづくりの推進 等

文化・スポーツによる 地域活性化

- ・ 文化芸術を生かしたまちづくりの推進
- ・ スポーツを生かしたまちづくりの推進 等

部会における主な意見等

【交通】

- ・ 買い物難民対策を念頭に置くことが必要。

【協働・コミュニティ】

- ・ コミュニティの維持には、住んでいる人の誇りを再生することが必要であり、関係機関の連携を実質的なものにしていくことが重要。
- ・ NPOの活躍が地域社会でもっと生かされるよう、活動が見える化するなどの仕組みづくりが必要。

【移住定住】

- ・ Iターン希望者に対し、仕事や住居の紹介などの支援が必要であり、もっとPRすべき。
- ・ 岩手に住むことによって、都会よりもコストがかからない部分をPRすべき。

【リノベーション】

- ・ 相続等の手続きがされていない空き家が多いため、空き家活用については、手続き支援も必要。

【地域づくり】

- ・ 地域活性化のため、県内地域資源の積極的な活用が必要。
- ・ これからの10年を考えていく上では、大胆な発想の転換や成功事例の積み重ね、地域の個性を生かした取組が必要。
- ・ 郷土愛の醸成等のため、近年、岩手県から輩出されている日本や世界の舞台で活躍するスポーツ選手に焦点を当てた政策を進めることが必要。

5 安全

目指す方向性(イメージ)

災害への備えや犯罪の防止などによって、安全が確保され、安心して暮らすことができる。

主な取組方向(イメージ)

地域防災力の強化

- ・ 県民が自らの身を自らが守る意識の醸成（自助）
- ・ 地域の安全を地域が守る体制の整備（共助）
- ・ 実効的な防災・減災体制の整備（公助） 等

感染症による被害の防止

- ・ 感染症対策の推進
- ・ 家畜衛生対策と鳥インフルエンザや伝染病発生時の防疫体制の構築 等

安全・安心なまちづくり

- ・ 県民の防犯意識の高揚を図る環境づくりの推進
- ・ 犯罪被害者等に対する支援
- ・ 少年の非行防止と保護対策の推進
- ・ 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援
- ・ 交通事故抑止対策の推進
- ・ 消費者教育の推進と相談機能の充実
- ・ 治安基盤の強化 等

食の安全・安心と生活衛生の確保

- ・ 食品に関する信頼の向上と県民理解の増進
- ・ 食を楽しむ環境づくりの推進
- ・ 地域に根差した食育の推進
- ・ 生活衛生関係営業の衛生水準の向上
- ・ 安全・安心で安定的な水道水の供給環境の整備 等

部会における主な意見等

【防災・減災】

- ・ 災害には森と川と海が関係するため、防災は流域単位で考えることが必要。
- ・ 岩手の大震災津波の経験を子どもたちに伝えることに加えて、大人が外部に語るができるようになることが必要。

【防犯】

- ・ 成人年齢の引き下げに伴う若年層の消費者トラブルの増加を防ぐため、未成年者に対する勧誘・詐欺の防犯対策に取り組むことが必要。
- ・ 高齢者や認知症の方をターゲットとした勧誘・詐欺もあるため、認知症の方や高齢者の防犯対策に重点的に取り組むことが必要。

【安全・安心】

- ・ 消費者支援体制（人材、予算）の縮小が見込まれるため、消費者教育を強化することが必要。
- ・ 消費者施策を推進するため、適格消費者団体についてもPRすることが必要。

6 仕事・収入

目指す方向性(イメージ)

安心していきいきと働き、生活に必要な収入を確保し、さらに、多様な働き方や新たな事業にもチャレンジできる。

主な取組方向(イメージ)

農林水産業の成長をけん引する 経営体の育成

- ・ 経営力・雇用力の高い経営体の育成
- ・ 農林水産業の次代を担う新規就業者の確保・育成
- ・ 女性農林漁業者が活躍し能力が発揮できる環境の整備 等

収益力の高い 「食料・木材供給基地」の確立

- ・ 消費者に信頼・支持される安全・安心な生産システムの推進
- ・ スマート農林水産業の導入による生産性とマーケットインの視点に立った市場性の高い産地づくりの推進
- ・ 高収益を実現する農地・森林・漁港漁場の整備と保全 等
- ・ 鳥獣被害防止の推進

農林水産物の高付加価値化と 販路の拡大

- ・ 地域ぐるみの6次産業化による県産農林水産物の高付加価値化の推進
- ・ 県産農林水産物のブランド化等の推進
- ・ 市場ニーズを踏まえた戦略的な県産農林水産物の輸出促進
- ・ 生産者と消費者等の結びつきを深めた地産地消の推進 等

多様なスタイルでいきいきと 暮らせる農山漁村づくり

- ・ 農山漁村を支える人材の育成と地域資源・文化の維持継承
- ・ いわてらしい魅力ある農山漁村づくりの推進
- ・ 豊かな地域資源を生かした交流の拡大や価値の創出
- ・ 環境と共生する農林水産業の推進
- ・ 気候変動や自然災害に強い農林水産業の推進 等

岩手の経済をけん引する ものづくり産業の振興

- ・ 自動車・半導体関連産業の集積・高度化の促進
- ・ 地域クラスターの形成促進
- ・ 新産業の創出
- ・ 「ものづくり革新」に対応した取組の推進 等
- ・ 企業・事業者誘致の推進

魅力ある地域資源を生かした産業の振興

- ・ FCP等による総合協働体制の構築
- ・ 新たな事業活動に取り組む事業者等の支援
- ・ 水産加工業の高付加価値化・高度化の支援
- ・ 県産品の販売拡大に向けた支援
- ・ 地域の資源を活用した産業における事業者の新規需要開拓への支援
- ・ 新たなエネルギー関連産業の育成
- ・ 新商品の企画・開発等に対する支援
- ・ 経営力向上の取組の推進や人材育成の支援
- ・ 事業者の海外ビジネス展開への支援
- ・ いわてからの輸出の拡大に向けた取組の推進 等

観光産業の振興

- ・ 地域資源を生かした魅力的な観光地づくりの推進
- ・ 観光人材の育成や二次交通などの受入態勢の整備
- ・ 効果的な情報発信と誘客活動の推進
- ・ 国際観光の振興と外国人観光客の誘客拡大に向けた取組の推進 等

中小企業の振興 (起業、事業再建・再生)

- ・ 創業の支援
- ・ 資金の円滑な供給
- ・ 産業支援機関による伴走型支援の推進
- ・ 事業者の経営展開への支援
- ・ 新たな事業活動等の経営革新の取組に対する支援
- ・ 人材の育成及び事業の円滑な承継支援
- ・ 商店街の活性化やまちづくりの支援
- ・ 市町村と連携した新たな商店街の構築 等

雇用環境の整備と「働き方改革」の推進

- ・ 安定雇用の拡充
- ・ 女性の活躍促進と離職者等への就業支援
- ・ 人材の確保と若者の就業支援
- ・ 企業における雇用・労働環境整備の促進
- ・ いわての「働き方改革」の推進
- ・ 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援
- ・ いきいきと働き続けるための健康づくりの促進
- ・ 生活困窮者や障がい者の就労に向けた支援 等

部会における主な意見等

【農林水産業】

- ・ 大学で農業について学んだ学生の就業先を確保するような体制づくりが必要。

【ものづくり】

- ・ 県内の製造業は、いわゆる下請けが多く、価格が低く抑えられ、数字上の生産性が低くなってしまいうことに留意すべき。

【地域産業(観光産業を含む)】

- ・ 宿泊業などの観光産業では、サービスの質が正しく価格に反映されておらず、生産性が低くなってしまいうことに留意すべき。
- ・ 観光産業においては、おもてなしの心を育むような教育が必要。

【物流・輸出】

- ・ 買い物難民対策を念頭に置くことが必要。

【事業再建・再生】

- ・ 経営者の世代交代を円滑にするため、事業承継に向けた支援が必要。

【雇用】

- ・ Wワークは、複数の仕事から様々な視点が得られ、本人にも、雇用側にもメリットがあり、推進について検討することが必要。(人手不足により、全ての企業が副業を容認できる訳ではない点と、社会保険料の負担に留意する必要あり。)
- ・ 岩手県では労働時間が長く、有給休暇の取得率が低いため、改善が必要。
- ・ IT化が進むことで、テレワークが可能となり、子育てしながら働く等、多様な働き方につながる。
- ・ 企業において健康経営の考え方が必要。
- ・ 高校生や大学生の地元定着に向けて、地元企業の魅力を積極的にPRする取組が必要。

7 歴史・文化

目指す方向性(イメージ)

歴史・文化を守り、次代へ引き継ぎ、活用することを通じて、岩手・地域への誇りが高まっている。

主な取組方向(イメージ)

岩手の歴史への理解増進と 伝統文化の継承と普及

- ・ 岩手の歴史への理解増進と情報発信
- ・ 岩手に根付いた伝統文化の継承と普及
- ・ 次世代につなげる文化財の保存と継承
- ・ 国際交流を通じた郷土の歴史・文化の理解醸成等
- ・ 食文化や食生活の継承

世界文化遺産の理念・価値の普及 と新規・拡張登録の推進

- ・ 理念・価値の普及を図る取組の推進
- ・ 新規・拡張登録の推進
- ・ 適切な保存管理の推進 等

歴史・伝統文化による地域活性化

- ・ 歴史や伝統文化を生かした交流人口の拡大
(歴史・伝統文化を生かした観光等) 等

部会における主な意見等

【伝統文化(関連した観光・ツーリズム、国際交流を含む)】

- ・ 歴史・文化の継承のため、行政がその大切さを訴えるとともに、消滅しないよう支援していくことが必要。
- ・ 郷土愛醸成や人口減少対策のため、本県の歴史・文化を子どもたちに伝え、大人も語れるようになっていくことが重要。
- ・ 地域の伝統芸能の継承のため、学校教育において柔軟に地域の伝統芸能を取り扱うよう意識の変革が必要。
- ・ 10年後、20年後の地域、未来を支えていくため、子どもたちの地域や岩手に対する誇りや愛着の醸成を図っていくことが必要。

【世界遺産(関連した観光・ツーリズム、国際交流を含む)】

- ・ 文化的価値の教育や郷土愛の醸成のため、従来の資産管理から、資産活用の視点に切り替えていくことが重要。

8 自然環境

目指す方向性(イメージ)

岩手の恵まれた自然環境を守り、人と自然との共生を確保しながら、豊かな自然を生かし、新たな価値が生まれている。

主な取組方向(イメージ)

循環型地域社会の形成

- ・ 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の促進
- ・ 廃棄物処理体制の強化
- ・ 産業廃棄物の適正処理の推進 等

多様で豊かな環境の保全

- ・ 生物多様性の保全
- ・ 自然とのふれあいの促進
- ・ 良好な大気・水環境の保全
- ・ 水と緑を守る取組の推進
- ・ 北上川清流化対策の推進
- ・ 環境負荷低減への事業者の自主的取組の促進
- ・ 環境学習の推進と県民等との連携・協働による取組の促進 等

地球温暖化防止に向けた低炭素社会づくり

- ・ 温室効果ガス排出削減対策の推進
- ・ 再生可能エネルギーの導入・利活用の促進と環境ビジネスの推進
- ・ 森林吸収源対策の推進
- ・ 気候変動適応策の推進 等

部会における主な意見等

【環境】

- ・ 再生可能エネルギーの導入促進について、希少生物保護との整合性を図りながら進めることが必要。
- ・ 次世代のごみ軽減やエネルギー活用につなげるため、児童生徒への環境教育を丁寧に行うことが必要。
- ・ 環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の活動は環境教育につながっているため、自然に触れあう教育に力を入れることが必要。

+ 1 社会基盤

目指す方向性(イメージ)

岩手の幸福を支える社会基盤が整備され、有効に活用されている。

主な取組方向(イメージ)

科学・情報技術の活用と基盤の整備

- ・イノベーションの創出に向けた研究開発の推進
- ・国際研究拠点の形成
- ・IoT、ビッグデータ、AI等の利活用
- ・ICTインフラの整備 等

安全・安心を支える社会資本の整備

- ・ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策の推進
- ・災害に強い道路ネットワークの構築
- ・日常生活を支える安全な道づくりの推進 等

産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備

- ・物流の効率化など生産性の向上に資する社会資本の整備・利活用
- ・観光産業振興に資する社会資本の整備・利活用 等

社会資本の維持管理と担い手の育成・確保

- ・社会資本の適切な維持管理等の推進
- ・住民との協働による維持管理の推進
- ・地域の建設業の持続的・安定的な確保 等

若者・女性が活躍できる基盤づくり

- ・若者・女性のネットワークづくりの促進
(・将来を担う若者の活躍支援と人材育成)
(・女性の活躍推進のための環境づくり)
- ・男女共同参画社会に向けた基盤の構築 等

部会における主な意見等

【社会基盤】

- ・各分野の施策を推進するため、一般的な生活ができる基本的な環境をしっかりと整えていくことが重要。

【情報】

- ・県央地域と沿岸地域の情報格差が感じられるため、地域によって情報格差が生じないような対策が必要。
- ・企業でも行政でも、IT化が進んでいない。生産性を上げるために、ITの活用が必要。